

《史跡名勝天然記念物の新指定》

【史跡】9件

1 ちやうじゃやまかんがいせきおよ ひた ちのくにかいどうあと  
長者山官衛遺跡及び常陸国海道跡【茨城県日立市】

古代官道に面する8世紀中葉から10世紀にかけての官衛遺跡。駅家の可能性のある遺跡から正倉別院へと性格を変えている可能性が高く、常陸国北部における駅路とその周辺施設の変遷を示すだけでなく、古代国家の交通政策を知る上でも重要である。

(古代官道に面する8世紀中葉から10世紀の官衛遺跡で、古代国家の交通政策を知る上でも重要)

2 やなせふたごづかこふん  
築瀬二子塚古墳【群馬県安中市】

古墳時代後期前葉に築造された墳長80mの前方後円墳。墳丘の周囲には盾形の周濠、周堤、外周濠が巡り、全長は130mに及ぶ。関東の前方後円墳として横穴式石室を導入した最古段階の事例で、新たな埋葬方法の展開を示す重要な古墳である。

(関東における最古段階の横穴式石室をもつ、古墳時代後期前葉の大型前方後円墳)

3 にいつゆでんかなづこうじょうあと  
新津油田金津鉱場跡【新潟県新潟市】

明治時代初期から平成8年(1996)まで石油採掘を行った油田跡。かずさぼ上総掘り、機械掘りといった油井遺構をはじめ、動力源であるポンピングパワー、かねつろ加熱炉、ろかち濾過池といった採油に関わる一連の施設が残る。我が国近代の石油産業の発展を知る上で重要である。

(明治時代初期から平成8年(1996)まで石油採掘を行った油田跡)

4 うじこふんぐん  
宇治古墳群【京都府宇治市】

宇治川右岸域に築造された古墳群。観音山古墳、二子山古墳北墳、二子山古墳南墳、瓦塚古墳の4基の円墳と、前方後円墳である二子塚古墳からなる。ヤマト政権中枢に近い南山城地域において、地域における古墳の展開が分かる重要な事例である。

(宇治川右岸域に築造された、4基の円墳及び1基の前方後円墳からなる古墳群)

5 ばんどうふりよしゅうようしょあと  
板東俘虜収容所跡【徳島県鳴門市】

第一次世界大戦において、捕虜となったドイツ兵を収容した施設。大正6年(1917)の開設から同9年閉所までの間、最大1千名余を収容した。兵舎建物跡の遺構が残る。捕虜の文化的活動等を物語る資料も豊富。近代の軍事及び外国人との交流に関わる遺跡として重要である。

(第一次世界大戦において、捕虜となったドイツ兵を収容した施設)

6 あさくらすえきかまあと  
朝倉須恵器窯跡

こくまかまあと  
小隈窯跡

やまくまかまあと  
山隈窯跡

【福岡県朝倉郡筑前町】

初期須恵器を供給する代表的地方窯として、我が国における須恵器生産開始期の実態を示すとともに、その後、陶邑系須恵器生産を受容し定型化していく過程を一遺跡で知ることができる。朝鮮半島との交流を含め、我が国における須恵器生産の受容と展開を考える上で極めて重要な遺跡である。

(我が国における須恵器生産の受容と展開を示す初期須恵器窯)

7 ちくほうたんでんいせきぐん  
筑豊炭田遺跡群

みついたがわこうぎょうしよいたこうあと  
三井田川鉱業所伊田坑跡

しゃがのおたんこうあと  
目尾炭坑跡

きゅうちくほうせきたんこうぎょうくみあいのおがたかいぎしよおよ きゅうごれんしゅうじよ も ぎ こうどう  
旧筑豊石炭鉱業組合直方会議所及び救護練習所模擬坑道

【福岡県田川市・飯塚市・直方市】

おんががわ  
遠賀川流域で開発された我が国最大の炭田遺跡群。筑豊炭田最高の出炭量を誇った伊田坑跡、蒸気機関によって排水を行い大深度豎坑のきっかけとなった目尾炭坑跡、石炭の価格調整等を行った旧直方会議所、爆発事故をきっかけに作られた模擬坑道からなる。

(遠賀川流域で開発された明治中期から昭和20年代にかけての我が国最大の炭田遺跡群)

8 しもふじ ほち  
下藤キリシタン墓地【大分県臼杵市】

のつ  
野津川左岸の台地に位置する、戦国時代から江戸時代までのキリシタン墓地。墓標(地上遺構)である石組遺構66基があり、墓坑(地下遺構)の形や中から出土した鉄釘の配

置から木棺伸展葬と考えられ、キリシタン墓と想定できる。フロイスの『日本史』に登場する豊後国野津院のリアンが作った墓地とみられる。

(野津川左岸の台地に位置する、戦国時代から江戸時代までのキリシタンの墓地)

### 9 びんぬうたき 弁之御嶽【沖縄県那覇市】

琉球王国の時代、国王の健康や国家安穩等の祈願、雨乞い儀礼等が行われた拝所の一つ。国王自身の参詣も行われた。首里城の東方約1kmに位置する丘陵(標高165.6m)で、うぶたき 大嶽・こたき 小嶽からなり、べんがだけ 弁ヶ嶽ともいう。琉球王国における祭祀を知る上で重要である。

(琉球王国の時代、国王の健康や国家安穩等の祈願、雨乞い儀礼等が行われた拝所の一つ)

## 【名勝】 4件

### 1 はくさんこうえん 白山公園【新潟県新潟市】

新潟市市街地中心部の白山神社旧境内地に明治初期に造られた公園。我が国において計画的に造営された公園の最初期の事例として極めて重要である。創設以来、市民の憩いの場、集会等の場として利用され、造営当初からの空間構成が大きく変わることなく維持されている。

(新潟市市街地中心部の白山神社旧境内地に明治初期に作られた公園)

### 2 うじやま 宇治山【京都府宇治市】

宇治川が峡谷から山城盆地に流れる谷口を巡って峰を連ねるぶつとくさん 仏徳山、あさひやま 朝日山、ふたごやま 二子山などを含む丘陵地で、古くから多くの秀歌に詠まれ、こうしょうじ 興聖寺、うじがみ 宇治上神社、宇治神社の境内地などを含み、特に江戸時代以来広く親しまれてきた名所の風致景観として優れている。

(古くから秀歌に詠まれてきた宇治川に臨む丘陵地の優れた風致景観)

### 3 なかやませんきょう えびすだに 中山仙境(夷谷)【大分県豊後高田市】

国東半島の北西部、竹田川の中流域に所在し、ひがしえびす 東夷とにしえびす 西夷の2つの谷からなる一帯の風致景観で、江戸時代の国学者・たかいやつほ 高井八穂が「夷谷八景」を選んだことで知られ、中山仙境の屹立した岩峰群の連なりは東夷と西夷の双方に臨み、展望地点としても優れている。

(東夷と西夷からなる夷谷に岩峰群が屹立する中山仙境の優れた風致景観)

#### 4 文殊耶馬【大分県国東市】

国東半島の北東部、<sup>とみくがわ</sup>富来川の源流域に所在し、<sup>がびさんもんじゅせん</sup>文殊山の中腹に位置する<sup>しほん</sup>峨眉山文殊仙寺の境内地を中心として奇岩・岩峰群が峭立する優れた風致景観で、江戸時代の「<sup>ちやくしよくもんじゅせんじけいだいず</sup>紙本著色文殊仙寺境内図」や思想家・<sup>みうらばいえん</sup>三浦梅園の「<sup>がびさんじゅうしきょう</sup>峨眉山十四境」などに描かれた風情を今に伝える。

(<sup>もんじゅせんじ</sup>文殊仙寺境内を中心とした奇岩・岩峰群からなる優れた風致景観)

#### 【天然記念物】 1件

##### 1 養老川流域田淵の地磁気逆転地層【千葉県市原市】

房総半島の急激な地殻変動と養老川の侵食作用とによって露出したもので、前期更新世と中期更新世の地質年代境界として、また地磁気逆転現象を保存するものとして学術的価値が高い。陸海域両方の化石等が産出し、当時の環境変遷を知る上で貴重である。

(養老川が侵食して露出した地層で、地球磁場の逆転現象の遷移を記録しており貴重)

#### 《登録記念物の新登録》

#### 【名勝地関係】 1件

##### 1 糸原氏庭園【島根県仁多郡奥出雲町】

江戸時代に松江藩の<sup>てつしとうどり</sup>鉄師頭取を務めた糸原氏の住宅に造られた庭園。大正末期の主屋新築の際に庭園も整備されたと考えられ、その主要な部分が現在まで残る。主屋の南東部に面し、山の斜面を取り込みつつ、滝、池泉、茶室等を設けている。

(江戸時代に松江藩の鉄師頭取を務めた糸原氏の住宅に、近代に造られた庭園)

#### 《重要文化的景観の新選定》

#### 【重要文化的景観】 2件

##### 1 伊庭内湖の農村景観【滋賀県東近江市】

琵琶湖東岸の伊庭内湖に面した石積み水路が発達した集落と周辺の水田、水源の山林

からなる景観地。琵琶湖最大の内湖であった大<sup>だい</sup>中<sup>なか</sup>の湖干拓前の水の利用を伝える。町割りとしても機能した水路，石積み直上に建てられた「岸建ち」と呼ばれる建造物が特徴。  
(琵琶湖東岸の内湖に用水を注ぐ石積み水路が発達した集落と水田からなる農村景観)

## 2 北<sup>きた</sup>大<sup>だい</sup>東<sup>とう</sup>島の<sup>りんこう</sup>燐<sup>やま</sup>鉱<sup>ゆらい</sup>山由来の<sup>ぶん</sup>文化的<sup>かて</sup>景<sup>きけい</sup>観<sup>い</sup>かん【沖繩<sup>おきなわ</sup>県<sup>けん</sup>島<sup>しま</sup>尻<sup>しり</sup>郡<sup>ぐん</sup>北<sup>きた</sup>大<sup>だい</sup>東<sup>とう</sup>村<sup>むら</sup>】

沖縄本島東方約360kmに位置する北大東島では，グアノと呼ばれる鳥糞石が広く堆積していたため，化学肥料となる燐鉱石の採掘業が営まれた。燐鉱石採掘に使用された施設群及び住宅・魚市場等として利用されてきた社宅群による景観地である。

(沖縄本島東方約360kmに位置する北大東島における燐鉱石採掘に由来する景観地)